

軟式野球部

第63回全国高等学校軟式野球選手権兵庫大会が三田城山球場(アメニスキップピーススタジアム)で、開催されました。本校の初戦は、7月28日(土)に六甲学院との2回戦で、3対0で勝利しました。続く3回戦の対戦相手は、昨年の決勝戦で敗れた篠山鳳鳴です。この対戦が、今大会の大きな山場と考えていました。先取点を挙げ、ミスなく進んでいたのですが、失点につながったヒットが2度とも、その回の先頭打者に3塁打を打たれ、それが全て相手の得点になり、また本校の打線も相手ピッチャーに抑えられてしまいました。結果、1対2で敗れ、この対戦



校が今大会で優勝していません。守りのミスをなくす目標は見事に達成したのですが、とても残念な結果に終わってしまいました。【登録選手】3年西馬琉(神戸市立神出中)、大屋誠海(同広陵中)、鉄羽康司(同鈴蘭台中)、馬場海生(同高倉中)、下井淳(西宮市立鳴尾中)、水田拳士(同今津中)、春山若葉(明石市立大蔵中)、飯田和希(同大久保北中)、岡本直貴(同大久保中)、足立駿(同中)、2年上治拓真(神戸市立原田中)、森峻輔(同雲雀丘中)、堀井一樹(同西代中)、吉田律摩(播磨町立播磨中)、長谷尚哉(伊丹市立松崎中)、上月聖也

射撃部

(西宮市立学文中)、1年柳瀬凌央(明石市立大久保北中) 第56回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会が、8月1日(水)から4日(土)まで、広島県のつづがライフル射撃場で開催されました。本校からは、ビーム・ライフル(BR)の男子団体と男子個人に3名が出場しました。8月2日(木)に団体戦が行われ、川端基3年(芦屋市立潮見中)、中川裕一郎2年(神戸市立吉田中)、本邑拓登2年(同太山寺中)が出場しました。結果は、12位になりました。各人が60発ずつ打ち、真中の10点の満点のみに小数第一位の点数まで表示されます。したがって、一発の最高得点は10.9となります。本校は12位とはいえ、3選手全員が600点以上を出



し、合計1830.1であったことをお知らせしておきます。個人は、参加者163名中、中川が16位61.7、4、本邑が32位61.2、7、川端が77位60.3.2でした。 8月19日(日)に諏訪山公園で恒例の「諏訪山夏祭り」が行われました。本校は例年、何らかの形で参加させていたのですが、今年は福袋釣りや夜店の売り子のボランティアとして軟式野球・空手道・ゴルフ部員が参加してくれました。

諏訪山夏祭り

ちょっと一言 昔から神戸は「ハイカラな」街といわれている。この「ハイカラ」とは、明治時代に西洋風の高い襟を付けた洋装が流行ったときに、西洋風の服装や生活様式を好む人のことをそう呼んだようだ。江戸時代末期、長崎や横浜など開港された地域はあったが、「ハイカラ」と呼ばれたのは神戸だけであった。幕府は開港に伴い外国人に貸与する外国人居留地の設置を決めた。しかし、当時より神戸は大きな街で、余った土地がなかったこともあり、居留地の造成は順調に進まなかった。次第に居留地以外に住む外国人が増えて、日本人との混在が進み、ラグビーなどのスポーツ交流も始まったことでハイカラ文化が広がっていった。